

秋、見つけたよ

対象児:2歳児 ひまわり組
作成者:ひまわり組副担任 宮崎佳那
作成日:2022年10月20日

●ねらい

- ・身近な自然に触れ、季節の変化に気付く。
- ・葉っぱや虫など秋の自然に興味を持って触れる。



●保育の振り返り

少しずつ寒くなってきましたが、園庭では元気に遊ぶ姿が見られています。ひまわり組さんには虫が大好きな子が多く、園庭に出ると花壇でだんごむしを探したり飛んでいる蝶々やトンゴを見つけたりと虫探しに夢中です。「トノサマバッタおるかな」「葉っぱの下にお家があるんじゃない?」と虫の名前や虫の好きな物など図鑑で覚えたことを友達と言い合いながら探す姿も見られ、覚えていることや発想、想像力にも驚かされます(思考力の芽生え)。

秋になり園庭で虫探しをしていると、さくらの木の下で落ち葉を発見。さらに探索をしていると花壇の近くでは木の実を見つけました。「これ何かな?」「茶色の葉っぱあった!」と見つけた物に興味津々です(自然との関わり・生命尊重)。木の実や葉っぱをちぎってみたり砂場でお皿やコップに入れておままごとをしてみたり見つけた物を使って遊びが広がっていきました。「今日は暑いね」「風吹きよるね」の言葉から「ちょっと寒いね」「セミさんおらんね」と変化に気づく声も聞こえるようになり、これからどんどん寒くなり冬になっていく季節をたくさん自然に触れ見つけながら季節の変化を一緒に楽しんでいけたらと思います。そして、子どもたちの気づきや思いを大事に、過ごしていきたいです。